

直前の心構え

1. テキスト・模試の徹底復習

「整理された10の知識は、整理されない100の知識に勝る。」
確実に使える知識を意識して増やすこと。

2. 得意・不得意科目とも、問題演習的アプローチを進める

直前期は、応用問題に取り組み、わからない所は基本に戻る形で弱点をつぶしていくこと。

3. 直前期は、今まで身につけてきた地力に加えて、得点力を積み上げていく。

「覚えれば済むものは、かづくでも覚える。」

◎ 健康管理

- ・ 朝食は1日の活動エネルギー、バランス良い食事をしっかりとる。
- ・ 昼型の生活に戻すこと。試験時間に照準を合わせて。
- ・ 健康維持のために、軽い運動を。散歩や家事の手伝いを。
- ・ 普段通りの生活を心がけ、ストレスをため込まない。
- ・ 1日の疲れは、ぬるめのお湯に長めの入浴でとる。
- ・ 受験期は、空気が乾燥する季節。風邪は受験の大敵。うがい・手洗いでしっかり予防。
- ・ 睡眠は十分に。自分の睡眠時間の適量を把握しておく。

入試当日の注意点

- ・ 前日には、試験会場までの交通機関・道順を確認しておく。
※ 日曜・祝日は電車・バス時刻表が変わっている場合もあり、注意が必要。
- ・ 入室時刻までは外で待たされることになる。防寒対策は怠りなく。
- ・ 試験会場は、暖房が効きすぎて暑い場合もある。衣服で調節できるようにしておく。
- ・ 机・椅子の状態が良くない場合は、遠慮せずに試験官にその旨を告げる。
- ・ 昼食は、現地調達ではなく、可能な限り用意しておいた方がよい。満腹だと眠くなるので、腹八分目くらいに。

- 試験会場では、次の試験科目の教材やノートを開き、試験をイメージした最終確認をしておく。
- 解答がひと通り終わっても、最後の1秒まで見直しを徹底する。
なかには途中で退室する受験生もいるが、気にしない。焦らない。

冷静に、
粘り強く、
大胆に、